

備前市施策評価シート

(平成18年度事業)

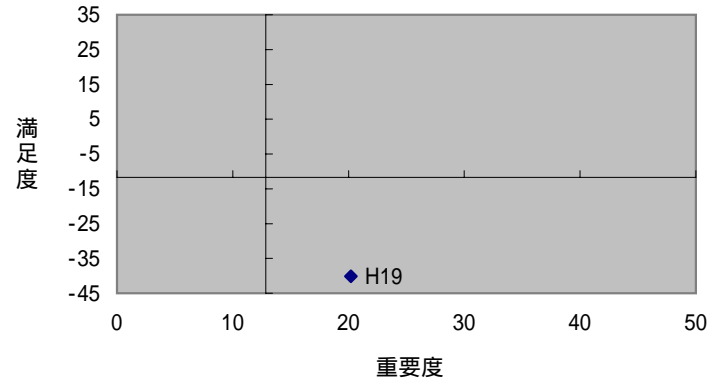
施策名 (小項目)	勤労者福祉	コード	作成者	役職	商工観光課長
		04-02-05	氏名	横山雅一	
			電話	64-1832	

備前市総合計画の内容から記載する

施策の体系	大項目(基本目標)	もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目(基本施策)	起業と創造が支えるまちづくり
施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	雇用の安定と勤労者福祉の向上を図る。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	雇用の安定と勤労者福祉の向上、本格的な高齢社会における定年延長、高齢者の雇用就業対策、障害者雇用対策、女性就業者が働きやすい職場環境の整備等が求められています。また、余暇を快適に過ごすことができるよう、充実した余暇利用のための福利厚生施設を充実する必要があります。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> 福利厚生の充実 高齢者職業相談室などの充実 職場環境の整備 	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	20.2		
満足度(%)	-40.1		



高↑満足度↓

低←重要度→高

平均

<見直し領域> その施策や事業が必要か否かの検討が必要

<維持領域> 現状の方向を継続

<検討領域> その施策や事業の存続の検討が必要

<強化領域> 内容等を見直し、市民満足度を高める事業を行う

調査結果に対するコメント、市民の反応等

調査対象でない施策の場合は、市民の反応等

市民皆様の中でも、雇用対策の必要性を求める意見が多い。ハローワーク、岡山県等関係機関と連携を図りながら、積極的に取り組んでいきたい。

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	評価年度		目標値		ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H23	H28		
1 福利施設の利用者数(福利厚生の充実)	目標	人	80,000.0	80,001.0			リフレクター、勤労者センター、青少年ホーム利用者数
	実績	人	79,215.0	78,773.0			
	達成率	%	99.0	98.5			
2 就職者数(高齢者職業相談室の充実)	目標	回	120.0	120.0		130.0	相談に訪れ、紹介を受け、就職した人数
	実績	回	113.0	127.0			
	達成率	%	94.2	105.8			
3 研修会等の開催日数(職場環境の整備)	目標	回	170.0	170.0		180.0	研修会開催日数
	実績	回	161.0	168.0			
	達成率	%	94.7	98.8			
4	目標						
	実績						
	達成率	%					

施策構成事務事業の評価

担当課長評価

施策を構成する事務事業名	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業一覧表	事業分類	事業費(単位:千円)						優先順位 その他
				H17		H18		H19		
				直接事業費	人件費	直接事業費	人件費	直接事業費	人件費	
1 勤労者施設管理運営事業	B	勤労者施設管理運営事業	維持管理	37,542	793	27,027	1,252			
2 勤労者融資事業	D	勤労者融資原資預託事業	ソフト事業	80,000	325	80,000	664			
3 産業功労者表彰事業	C	産業功労者表彰事業	ソフト事業	264	1,130	234	1,404			
4 労働団体支援事業	C	岡山県労働協会会費	ソフト事業	12		12				
		岡山県労働保険事務組合連合会会費	ソフト事業	10	468	10	563			
		岡山県建設労働組合補助金	ソフト事業	252		252				
		労働組合協議会補助金	ソフト事業	1,300		1,000				
5 働く婦人の家管理運営事業	C	働く婦人の家運営事業	ソフト事業	39		32				
		働く婦人の家維持管理事業	維持管理	52	4,520	62	1,965			
		各種口座開設事業	ソフト事業	107		39				
6 高齢者職業相談事業	C	高齢者職業相談事業	ソフト事業	0	204	0	310			
7 職場環境整備事業	C	岡山県障害者雇用促進協会会費	ソフト事業	30		30				
		21世紀職業財団会費	ソフト事業	50	372	50	386			

この施策に要した費用(人件費込、単位:千円)

	H17	H18	H19
	122,752	115,292	

以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	その説明

施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度	2	雇用の安定と、勤労者福祉の施策については、十分な対応はできていないと思う。	3	施策成果は指標に失業率を加えるべき。
2 事業構成の適当性	3	高齢者、障害者、女性等の雇用については、今後避けて通れない問題であり、ねばり強く事業展開が必要である。	3	高齢者の雇用就業対策のメニューを考える必要がある。
3 施策の有効性	2	雇用の安定は、人間として快適で安心した生活を営むには必要不可欠なことであるため、さらなる施策の展開が必要である。	3	それぞれの施設の利用者数、研修会日数はほぼクリアできた。
今後の展開・協働の可能性・事業の見直し等の担当への指示		ハローワーク及び高齢者職業相談所との連携を密にすること。		雇用対策の必要性を求める意見が多いところから、関係機関の連携を図っていただきたい。
二次評価者コメント		施設の維持管理と、ソフト事業ばかりなので、さらにコスト削減を図るべきだと思う。		平成20年度 予算の方向性 減配分